

「サーバント・リーダーシップ」 ～リーダーシップに関する考察～

北 岡 篤
(株式会社北岡本店)
代表取締役社長



リーダーシップに関して考えてきたことを、「サーバント・リーダーシップ」をキーワードにして、記してみたいと思います。

(私の略歴)

1956年奈良県吉野の酒造業の家に生まれ、在学中に入社し、帰郷して専務取締役を経て、1988年より代表取締役社長をしています。その間、1995年吉野青年会議所理事長、1997年から8年間吉野町議会議員、2008年から12年間吉野町長を務めました。

(「サーバント・リーダーシップ」との出会い)

吉野町長時代、拝見していた「商工ジャーナル」の「今を語る」に元世界銀行副総裁の西水美恵子さんのインタビューがありました。(2011年7月号)

「国民の幸せを国づくりの中心に」というタイトルにひかれて読み、著書の「国をつくるという仕事」を取り寄せると、その中に「サーバント・リーダーシップ」という言葉がありました。

リーダーである人は、「まず相手に奉仕し、その後相手を導くものである」という実践哲学をサーバント・リーダーシップといいます。(グリーンリーフ・センター・ジャパン)

興味があれば以下の書籍をご覧ください。帯やサブタイトルで内容が推察されます。

「サーバント・リーダーシップ入門」(2007年、池田守男、金井壽宏、かんき出版)

サブタイトルは「引っ張るリーダーから支えるリーダーへ」

帯には、「『オレについてこい』だけがリーダーシップではない」とあります。

「サーバントであれ」(2016年、ロバート・K・グリーンリーフ、英治出版)

サブタイトルは「奉仕して導く、リーダーの生き方」

(私の経験してきたリーダーシップ)

・酒造会社専務から社長 (前期)

十数名の小さな会社。意見を聞いているようで、実質はワンマン。自分が一番優秀で何でもできると思っている。面倒なことは社員に任せ、すべてを知っていないと気に入らない。

そんな状態であっても、それなりに勉強し、計画的に進めていくとそれなりの成績は出せていましたが、流通の変化などに対応できず、行き詰ってしまいました。

こんな中で、貴重な体験をしたのは「青年会議所の理事長」でした。

経営者や二世の集まりの中で事業をしていく。「オレについてこい」はなかなか通用しない。思い切って、「責任は俺がとるから好きなようにしろ」と腹をくくったら、思いもかけない事業がどんどんできていく。この経験が次につながっていったように思います。

・吉野町長および社長（後期）

51歳で町長に就任。人口9,000人（現在6,000人）職員数約100人（病院を除く）の町は課題が山積でした。

このようにときに「サーバント・リーダーシップ」に出会いました。

今までの自分のリーダーシップを振り返り、失敗と成功がよく理解できました。

議員経験はあったものの行政の細部まではわからず任さざるを得なかったのですが、同世代の幹部職員と意思の疎通を図り、「責任は私だから思い切って」と伝えと、事業がどんどん進みました。

しかしながら組織の持続性を考えたとき、次の世代が育っていませんでした。彼らのリーダーシップまで考えておらず、私と同じような進め方をして部下を育てた場合もありましたが、ほとんどがワンマンで進めて部下が育っていませんでした。この点が注意すべきことです。町長職は限界を感じ、後継者にバトンタッチしました。

一方家業のほうは、社長は続けていましたが、家内と常務に任せてしまいました。何とか打開策を見つけ、業績が上がりました。今はコロナで足踏みしていますが、さらなる成長が期待できます。

こちらの方は常務が全くのワンマンで進めて成功しました。2年前に会社に戻りましたが、次の世代が思っていたほど育ってなくて、事業の持続性を考えたときに危機感を抱いています。ワンマン体制はいつまでも続くことはないの見直しが必要、コロナで事業の意義を一から考え直すとして、体制を整えているところです。

(リーダーシップのあり方について思うこと)

「サーバント・リーダーシップ」とそうでない例えば「オレについてこいリーダーシップ」はどちらが良いかという問題ではありません。その組織、プロジェクトの性格やメンバーの状況で異なるので、臨機応変に使い分けることが大切です。

組織は短期的な目標を達成するだけなのか？長期目標を持ち持続性が重要なのか？

メンバーの能力はどの程度なのか？成長を期待するのか？新陳代謝は可能なのか？

他にも考える点は多々あるかと思えます。

(終わりに)

短い文章で意は尽くせなかったと思いますし、浅薄な内容で申し訳ありません。

ご自分だけでなく、国レベル、都道府県、市町村の首長のリーダーシップはどのように発揮されているのか、時代にあっているのか。各会社、業界、経済団体など、どのようなリーダーシップがなされているのか。

「サーバント・リーダーシップ」という言葉をキーワードにして考えてみるのも面白いかと思えます。